

2012/8/27～31 芦屋市U-15トレセン ラオス遠征報告書

遠征日程表

日	月日	地名	時間	交通	スケジュール
1	8月 27日 (月)	芦屋 ビエンチャン	7:30 10:30 19:20 20:30	マイクロバス VN-321	関西空港より空路～ホーチミン、プノンペン経由 ビエンチャン ワットタイ国際空港到着 夕食（現地レストラン） センタワンリバーサイドホテル 宿泊
2	28日 (火)	ビエンチャン	朝 昼 16:00 ～	マイクロバス	ホテルにて朝食 昼食（現地レストラン） 親善試合：ラオス U-16 代表(国立競技場) 夕食：ラオスサッカー協会 U-16 メンバー ラオス A 代表日本人スタッフ 懇親会 ランサンホテル センタワンリバーサイドホテル 宿泊
3	29日 (水)	ビエンチャン	朝 昼 16:00 ～		ホテルにて朝食 フォンナム小学校を表敬訪問 小学生とサッカー交流 昼食（現地食堂） 親善試合：ビエンチャンのクラブチーム 夕食：クラブチーム選手（ラオス大学） 懇親会 ランサンホテル センタワンリバーサイドホテル 宿泊
4	30日 (木)	ビエンチャン	朝 昼 20:05	マイクロバス VN-920	ホテルにて朝食 市内観光、ショッピング 昼食（現地レストラン） 夕食（現地レストラン） ビエンチャン ワットタイ国際空港より空路 ハノイ経由
5	31日 (金)	関西空港 芦屋	00:05 6:40 8:30	VN-330 マイクロバス	ハノイより空路 機内泊

2012 芦屋市U-15トレセン 親善試合報告



ラオスの首都ビエンチャンにある国立競技場でU-16のラオス代表と試合をしました。芝生の状態は、日本に比べると良くなかったが、50名ぐらいの鳴り物を鳴らすラオスのサポーターの中、普段日本にいとプレーすることができない大きなスタジアムで、国を代表する選手相手に試合ができたことは、子供達にとって貴重で素晴らしい経験になったと思います。



●8月28日(火) 午後からラオスU-16代表と親善試合を行った。

VS U-16ラオス代表 0-12



ラオス代表は17歳の選手も含まれていたらしく、体格の差が歴然だった。

しかも初めての45分ハーフということでゲーム前から劣勢が予想できたので、普段(メンバーは、二人を除いて全員甲南中サッカー部)とは違うシステム3-5-2で試合に臨んだ。

立ち上がり5分までは、ボールをキープされていたものの、しっかり相手に対応出来ていてシステムがハマっていたが、徐々にパワーとスピードの差が出てきて対応できなくなり失点を重ねた。

やはり、ポゼッション、ゲーム運びを取っても相手の方が2枚も3枚も上手で、中々マイボールに出来なかったが、オフザボールの選手がボールを貰いに来ない、貰う動きが少ないのが一つの原因。



常にボールに対して顔を出し、相手を背負ってでもボールを貰える選手が一人もいなくオンザボールの選手がプレッシャーに耐えきれずボールを大きく蹴り出してしまったりボールを失うことが多く、初めてのシステムだったが、戦術を理解している選手と何も考えずプレーしている選手がはっきり分かった。

この試合は、年齢が上で、体格差が大きかったので難しかったと思うが、色んなサッカーを観たり練習をして、ポゼッションの仕方、戦術の理解、ボールの受け方を身につける必要を感じました。

夜の懇親会ではラオスU-16代表選手・スタッフと和やかな雰囲気での交流をした。



● 8月29日（水）午前はフォンナム小学校を表敬訪問

芦屋市ライオンズクラブが17年前にドーム型体育館を建設してから交流のある小学校に訪問し、小学生との交流、地元のサッカーチームとフットサルをして楽しんだ。

結果は9-9の引き分け



●8月29日（水）午後からラオスクラブチームU-14親善試合を行った。

VS U-14 0-1

同年代との試合ということもあり、28日の相手と比べてポゼッション出来ていたが、フリーでのイージーミスが多く全体的に落ち着いてプレーが出来ていなかった。

基本的な課題は28日と同じだが、攻めれた分、攻撃での課題が見えた。

ラストパスの精度が悪く、攻めのバリエーションが少ない。

バリエーションが少ない原因としてFWがどういう動きをしてボールを引き出すか、もしくはスペースを空けるのか意図したプレーが皆無に等しく、何度かあったチャンスもFWが絡めていなかった。

フィニッシュの精度が悪く、こちらに傾きかけた流れを持っていくことができなかったことが敗戦につながったと思う。

DFは、28日の疲れがあったとは思いますが、チャレンジとカバーがある程度出来ていて最後まで集中していた。

全体的にコーチングの声が聞こえずチームリーダーがいない。

全員が、もう少し向上心をもってサッカーに取り組み、勉強する必要があると感じました。

このラオス遠征がただの交流ではなく、敗戦の反省をして学習し、次に繋げて欲しいと思います。

芦屋サッカー協会
技術委員長
河野 英樹